

第2節 世帯数の見通し

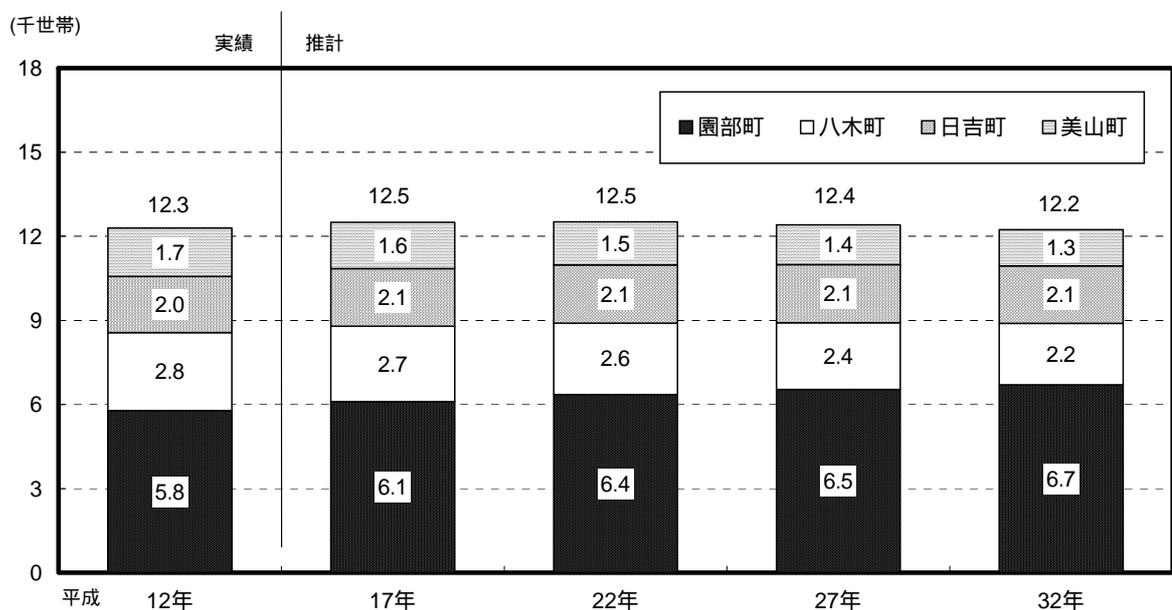
平成12年における4町計の一般世帯数は約1万2千世帯です。

全国的な核家族化の進行や一人暮らし世帯も増加している影響により、平均世帯人員は減少しています。

今後は、園部町が増加する一方で、その他の町が減少傾向で推移し、新市の推計値では、平成22年までは増加しますが、その後減少することが想定されます。

この結果、10年後の平成27年においても、新市の世帯数は現在とほぼ同じであると予想されます。

図表 3-2 一般世帯数の見通し



	(千世帯)				
	実績 12年	推計			
	12年	17年	22年	27年	32年
4町計	12.3	12.5	12.5	12.4	12.2
園部町	5.8	6.1	6.4	6.5	6.7
八木町	2.8	2.7	2.6	2.4	2.2
日吉町	2.0	2.1	2.1	2.1	2.1
美山町	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3

(注) 四捨五入の関係上、内訳の合算値が合計と一致しない場合があります。

(資料) 総務省「国勢調査報告」、国立社会保障・人口問題研究所「都道府県別将来推計人口(平成14年3月推計)」